

2010 年度  
日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

2010 年 5 月 21 (金), 22 日 (土)

統計数理研究所

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3; <http://www.ism.ac.jp/>

- 5 月 21 日 (金) 12:55~13:00 開会の挨拶  
13:00~14:20 一般講演『臨床研究』  
14:30~15:50 一般講演『医薬品、臨床研究』  
16:00~17:20 一般講演『統計的推測』
- 5 月 22 日 (土) 9:30 ~10:50 一般講演『ゲノム』  
11:00~12:00 一般講演『疫学』  
12:00~12:45 日本計量生物学会総会 (学会賞授与式を含む)
- 5 月 22 日 (土) 13:15~14:15 特別講演『Statistics in Medicine』  
14:30~17:00 特別セッション  
『農学、生態学、進化学でのベイズ統計手法の応用に関する諸問題』

年会参加費：正会員，後援学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，  
(事前登録の場合は正会員，後援学会員 2,500 円，非会員 4,500 円)  
学生 (正会員，非会員とも) 1,000 円

## 2010 年度

### 日本計量生物学会年会プログラム

5月21日(金) 12:55~17:20, 22日(土) 9:30~17:00 (開場 9:10)

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

年会参加費：正会員, 後援学会員 3,000 円, 非会員 5,000 円,

(事前登録の場合は正会員, 後援学会員 2,500 円, 非会員 4,500 円)

学生 (正会員, 非会員とも) 1,000 円

#### チュートリアルセミナー

日 時： 5月21日(金) 9:30~12:00 (開場 9:10)

会 場： 統計数理研究所 大会議室 (2階)

(〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3; <http://www.ism.ac.jp/>)

テーマ： 統計思考と分類思考：Rを用いた分類パターンの認識

講 師： 三中信宏 (農業環境技術研究所)

参加費： 正会員, 後援学会員 3,000 円, 非会員 5,000 円,

(事前登録の場合は正会員, 後援学会員 2,500 円, 非会員 4,500 円)

学生 (正会員, 非会員とも) 1,000 円

#### 年会 (大会議室)

#### 5月21日 (金)

12:55~13:00 開会の挨拶

日本計量生物学会会長 佐藤俊哉

13:00~14:20 一般講演： 臨床研究

座長 飛田英祐 (国立保健医療科学院)

○ 吉田祐樹、勝田啓子、竹内雅子、渡辺秀章 (塩野義製薬)

臨床試験で条件付き検出力を用いた無益性中止の方法の性能評価

○ 長谷川貴大、落合俊充、浦狩保則、土屋佳英 (塩野義製薬)

用量探索試験における条件付き検出力を用いた無益でない用量の選択

○ 寒水孝司 (京都大学大学院医学研究科)、杉本知之、濱崎俊光 (大阪大学大学院医学系研究科)

複数の主要評価変数をもつ臨床試験の症例数設計：正規変数と2値変数が存在する場合

○ 谷 明博 (加納総合病院 循環器科)

二種類の降圧薬比較試験において、両群間での血圧差がないのに、医学的に有意なリスク低下がみられる理由 —統計学的考察—

14:20-14:30 休憩

14:30~15:50 一般講演：医薬品、臨床研究 座長 小山暢之 (第一三共株式会社)

- 本田主税 (小野薬品工業株式会社)、西川正子、高橋邦彦 (国立保健医療科学院技術評価部)、丹後俊郎 (医学統計学研究センター)  
非線形混合効果モデルを用いた非臨床薬理試験の用量-反応試験データ解析に関する検討
- 上坂浩之 (大阪大学)  
医薬品の多地域用量反応試験の計画と評価方法について
- 田栗正隆 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻生物統計学分野)、大橋靖雄 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学分野)、岩田広治 (愛知県がんセンター中央病院乳腺科)、佐藤康幸 (国立病院機構名古屋医療センター乳腺内分泌外科)  
副作用による脱落を考慮したフローズングローブ使用による乳がん術後化学療法の副作用予防効果の検討
- 勝田知也 (金田病院 内科)、丹後俊郎 (医学統計学研究センター)、山岡和枝 (国立保健医療科学院技術評価部)  
特発性肺線維症の急性増悪の予後因子に関する統計学的検討

15:50-16:00 休憩

16:00~17:20 一般講演：統計的推測 座長 伊藤陽一 (北海道大学)

- 佐伯浩之 (富士フイルムR Iファーマ株式会社 開発部)、丹後俊郎 (医学統計学研究センター)  
複数の読影者による診断法の比較のための対応のあるカテゴリカルデータの統計的推測
- 川口 淳 (久留米大学バイオ統計センター)、Gary G. Koch (Department of Biostatistics, the University of North Carolina at Chapel Hill)、Xiaofei Wang (Department of Biostatistics and Bioinformatics, Duke University Medical Center)  
層別多変量マンホイットニー推定量による2種類の治療法の比較
- 川口 修 (サノフィ・アベンティス株式会社)、飛田英祐、西川正子 (国立保健医療科学院 技術評価部)、丹後俊郎 (医学統計学研究センター)  
部分的区間打ち切りデータにおける二標本検定法の比較と評価について
- Mohammad Manir Hossain Mollaha (Grad. Sch. of Agr. Life Sci., Univ. of Tokyo)、Md. Nurul Haque Mollah (Dep. of Statistics, Univ. of Rajshahi)、Hirohisa Kishino (Grad. Sch. of Agr. Life Sci., Univ. of Tokyo)  
Beta-Divergence Approach for EBarrays as a tool of Model Diagnosis and Robustification

## 5月22日(土)

9:30~10:50 **ゲノム**

座長 宮田 敏 (癌研究会)

- 大谷敬子、大瀧 慈、檜山桂子、佐藤健一 (広島大学原爆放射線医科学研究所)、  
檜山英三 (広島大学自然科学研究支援開発センター)  
マイクロアレイデータ解析の最近の動向について
- 吉村健一 (京都大学医学部附属病院 探索医療センター検証部)  
バイオマーカー同時開発臨床試験における母数推定
- 白川康一 ( 京都大学大学院医学研究科医学専攻病原細菌学分野)、  
西渕光昭 (京都大学東南アジア研究所)  
プラスモディウム属における感染調節タンパクのゲノム分析について
- 武藤裕紀 (中外製薬(株) 創薬資源研究部)、松下智哉 (中外製薬(株) 安全性研究部)、  
大森 寛、芦原基起 (中外製薬(株) 創薬資源研究部)  
遺伝子発現データを用いた毒性判別モデル構築における変数選択手法の比較

10:50-11:00 **休憩**

11:00~12:00 **一般講演：疫学**

座長 高橋邦彦 (国立保健医療科学院)

- 野間久史 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学分野)  
一般化カイ分布に基づく正確なベイズ流手法：方向性を持つ事前情報を取り込むための柔軟な方法
- 和泉志津恵 (大分大学工学部)  
ULS Scan 法を用いた時空間クラスターの検出に関する改良
- 富田哲治、佐藤健一 (広島大学原爆放射線医科学研究所)、  
柳原宏和 (広島大学大学院理学研究科)、大谷敬子、大瀧 慈、(広島大学原爆放射線医科学研究所)  
位置情報を用いた比例ハザードモデルの推定について

12:00~12:45 **日本計量生物学会総会 (学会賞授与式を含む：大会議室)**

13:15~14:15 **特別講演**

座長 佐藤俊哉 (京都大学)

丹後俊郎 (医学統計学研究センター)

『Statistics in Medicine』

14:15-14:30 **休憩**

14:30~17:00 特別セッション

農学、生態学、進化学でのベイズ統計手法の応用に関する諸問題

オーガナイザーおよび座長 三中信宏 (農業環境技術研究所)

- 岸野洋久 (東京大学)  
ベイズ統計手法の応用の現状と展望
- 北門利英 (東京海洋大学)  
水産資源学におけるベイズモデリング
- 林 武司 (農業生物資源研究所)  
ベイズ手法を用いた遺伝育種研究
- 田辺晶史 (筑波大学)  
ベイズ法をもちいた系統進化の解析
- 伊東宏樹 (森林総合研究所)  
植物生態学とベイジアンMCMC
- 久保拓弥 (北海道大学)  
集団動態のベイズモデリング

17:00 閉会

## 会場へのアクセス

成田空港または羽田空港よりリムジンバスで立川地区下車  
JR 中央線立川駅下車

- 立川駅より徒歩約 25 分
- 立川北駅から多摩モノレールで高松駅下車 徒歩約 7 分([モノレール時刻表](#))
- 立川駅北口バス乗り場2番から、[立川バス](#)で裁判所前下車 徒歩約 3 分

地図は <http://www.ism.ac.jp/> をご参照ください。

## 昼食の準備について

学会会場の統計数理研究所には食堂、売店等はありません。またモノレールの最寄り駅である高松駅周辺には店は少ないので、**各自、立川駅周辺等にて昼食をご準備ください。**

## 親子休憩室の利用について

親子休憩室は、チュートリアルと年会の時間帯にご利用いただけ、飲食が可能です。なお、お子さんの安全確保のため、**保護者が常時お子さんに同伴することが必要**です。利用をご希望の方は、年会の事前参加申込書中に利用人数をご記入ください。

## チュートリアルおよび年会期間中の会場への電話による問い合わせおよび連絡

期間中 (5 月 21 日、22 日、両日とも 9 : 00 - 17 : 00) 事務局並びに参加者へのご連絡、お問い合わせを、電話番号 080-1567-3978 にて承ります。

日本計量生物学会年会運営

和泉志津恵 (大分大学)

上坂浩之 (大阪大学)

大森 崇 (京都大学)

服部 聡 (久留米大学)

三中信宏 (農業環境技術研究所)

問い合わせ先：日本計量生物学会事務局

101-0062 東京都千代田区神田神保町 3-6 能楽書林ビル 5 階

(財) 統計情報研究開発センター内

Fax : 03-3234-7472 E-mail : [biometrics@sinfonica.or.jp](mailto:biometrics@sinfonica.or.jp)

URL : [http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbs/index\\_i.html](http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbs/index_i.html)

年会期間中の連絡先

080-1567-3978

---